

シン路情報

利府高等学校進路指導部

なぜ働く(学ぶ)のか? 号

【シン路の教科書】6ページには、こう書いてあります。『なぜ働く(学ぶ)のか?』を一度考えてみてはいかがでしょうかと。今号では、10月4日の総合学習の時間に1年次を対象に行った「なぜ働くのか?」を考える授業についてお知らせします。

＜なぜ働くのか?＞

さて、保護者の皆様、「なぜ働いているの?」と聞かれて答えることができますか? 但し、この授業は「なぜ働くのか?」を考えることで、目的意識を持つことの大切さを実感してもらうことが目的です。



----- 【授業デザインについて】 -----

①クラスで5人のグループを作る

②持ち物はA3の紙と付箋紙と筆記用具

(1) 今日の目標について: ①「分かる」と「伝えられる」は違う ②普段見ているものは合っているのか?
③多様な考え方 ④疑問・目的意識を持つことが大切

(2) ウォームアップ: ①リズムで曲を伝える ②セブンイレブンとツイッターのロゴの絵を描く

(3) 話し合いのルール: ①「話す」「聴く」 ②否定しない ③関係ない話をしない ④時間を守る

(4) 「なぜ働くのか?」の理由について各班で考える(KJ法)

(5) <解説> オトナが考える働く理由・・・世代で違う

(6) <解説> 社会・大学が求める高校生: 主体的とは?

(7) <解説> 「奴隷の話」目的意識で変わるという話

(8) <解説> 偉人・賢人に働く理由

(9) <解説> 社会人セミナーに向けて



----- 【朗読】 -----

自分の**仕事**の目的が何で、何に役立つか、どんな意義があるのかを知っているだけで**仕事**のやる気、情熱、活力、疲れ方が違ってくるとい話です。

仕事が忙しかったりすると、目の前の**仕事**をこなすだけになり時には「何やってるのだろうな～」と迷ったり、落ち込んだりすることがあるかと思えます。そんな時、この話を思い出して自分の**仕事**にはどんな意味・意義があり、誰の役に立っているかを考えてみるといいかも知れません。

←「奴隷の話」で最後に朗読したお話【仕事】という言葉【勉強】とか【部活動】に変換してみてください。



＜社会人セミナーに向けて＞

この授業は秋冬に1年次の総合学習の時間に行われる「社会人セミナー」の事前授業として、毎年行っています。今年度は11月1日に社会人セミナーは行われますが、利府高校に役35名の実際に社会で働いている方々に来ていただき、講話をしていただきます。生徒は2人の話を聴くこととなりますが、目的意識を持って欲しい、また「なぜ働くのか?」という視点も持ちながら聴いて欲しいという考えで行っています。

----- 社会人セミナー来校者(例) -----

副検事・フリーアナウンサー・留学カウンセラー・旅行会社・看護師・介護職員
経営コンサルタント・前国会議員・自衛官・秘書・歯科技工士などなど



~~~~~ ためにならないcolumn ~~~~~

今夏に仙台(杜王町)でジョジョ展が開催されました。仙台市役所も杜王町役場と看板を書き換えたり、一番町のローソンがオーソンになったり、石井屋でサンジェルマンのパンが売っていたり、仙台をあげてジョジョ展を応援した形になりました。それも作者の荒木飛呂彦先生が仙台市出身(高校は東北学院榴ヶ岡高校から仙台デザイン専門学校)だからで、2012年以來の2回目のジョジョ展開催でした。オラオラですね～w

利府高生に送る言葉 第6弾

【週刊連載で鍛えられたのは、一週間分、19ページで読者にひとつのアイデアを伝えるというコツかな。たくさん詰めても読者にはわからない漫画になってしまうから、ひとつでいいと。】

荒木飛呂彦